

1年生に期待する

(平成27年度第1学年PTA校長挨拶より)

皆さん、こんにちは。本日はお休みのところをお集まりいただきまして誠にありがとうございます。

さて、入学してから早いもので2か月と1週間たちました。生徒のみなさんをご家庭でどんなこととお話ししておりますでしょうか。

【入学≠本高生ではない】

本当の本高生になるには努力が必要だと話しておりますが、ともあれ、あれから2ヶ月あまり、1年生の諸君には、入学式、対面式及び応援歌練習、三人行事である運動会、部活では中央支部並びに県総体、あるいは高文連の大会、初めての定期考査、怒濤のような2ヶ月であったと思います。そして、間もなく玲瓏祭……

私どもとしましては、こうした日々がそのまま本高生としてのイニシエーション、通過儀礼になっていて、そして少しずつ、本高生になっていくんだなと感じておりますがいかがでしょう。それでは、私からは、2点お話ししたいと思います。

【高卒生の離職率から分かること】

昨日、管内経済団体等に対する新規高卒者の求人要請ということで、にかほ市商工会、TDK、由利本荘市商工会などに求人のお話をお願いしてきましたが、そこで話題になったことの一つに、離職率がありました。

高校生の就職状況は好転している。先行きは明るいものの、その一方で、高卒就職者の3年以内の離職率39.2%、約半数は1年未満ということでした。

理由は、「仕事が向いていない」「職場の人間関係がうまくいかない」とのこと。

では、高校時代をどのように過ごせばよかったのかということですが、

1つ目。調査によると、部活動に参加していなかった。遅刻が多かった。予習復習していなかった等、積極的に学校生活に取り組もうとしていない生徒に早期離職の傾向がある。

特に、部活動をしていない生徒が目立つ。

たぶんこれは、目標を持ってその実現に向けて、みんなで頑張るという体験、困難時があっても逃げずに乗り越えようという経験の有無なのではないかと思います。

社会で必要な力、人間関係づくりや物事を成し遂げる姿勢・態度、挫折からの回復力などは、高校の特別活動で培われる。中でも、部活動に熱中することは将来必要となる何かの力が確実に身につくということ。

部活入っていない人には、それと同等な何か、読書やボランティア、地域での取り組みなど、学習では得がたい何かを身につけるべく、熱中してほしいと願っています。

2つ目。夢、目標を持つこと。目標や夢を持って取り組んでいる人は強い、へこたれないし、耐えることができる。高校にお願いですが、夢を持たせてください。と言われてきました。もっともなことだと思います。真剣に自分と向き合い、早く夢・目標に出会ってほしい。商工会の人が「夢のある人は強いし、そういう人がほしい」といっていたのが印象的でした。

とにかく、本荘高校での「右文尚武」の実践が、将来に直結しているのは間違いありません。生徒諸君には、是非とも右文尚武を高いレベルで実現してほしいし、ご家庭でもそういう子供さんを援助・激励していただきたく思います。

【高校の授業】

あと、もう一点、高校の授業についてですが、授業を聞くだけで理解できた中学時代はとうに過ぎました。今は、予習をし、ノートを活用しなければ理解し覚えられない高校です。しかも、教科書は隙間だらけです。まずこのことを認識すること。

そこで、大事なことは、先生の話をよく聞くことです。

具体的な学習方法を教えないでがんばれ、では生徒は行動できませんが、本校教師は具体的な指示ができます。一例を挙げれば、東大に入った子や医学部に入った子を具体的に教えています。部活動の両立に苦しんだ子が、どのように克服して夢を叶えたか、どんな3年間を過ごした子どもが合格しているかを知っています。これは得難い強みと思います。ただし聞けばの話です。

どうか、先生方の話を聞く、すなわち、授業を大切にし、未来に供えた準備をしてください。若い時代は準備の時であるとよく言いますが、この準備したものが未来の自分を助けるのです。がんばらせてください。

1年生は生活・学習習慣の確立、部活動との両立がすべてです。簡単に言えば、高校生活を推進していける身体能力・体力及び精神的な強さを身に付けよ、ということです。

単位や進級は与えられるものではない、自分で勝ち取るもの。努力なくしての進級はあり得ません。ご家庭でも、そこを押さえてほしいと思っています。

【最後に】

全県総体、終わりました。

柔道部、個人戦で3階級、弓個人戦で男女二人、端艇部が男女舵手付クオドルプル女子ダブルスカルでインターハイ 文化部では放送部が全県優秀賞、全国大会にも出場決定しております。このあと、硬式、軟式野球はじめ文化部もまだまだ大会があります。インターハイはもちろん、まだの大会にも大いに期待したいと思います。ご家庭でも応援よろしくお願いします。

学校はこのあと、玲瓏祭にまっしぐらです。この日のために、全力で向かってほしい。そこで何か美しいものに触れ、何かを身に付け、心にとめておくべきものを見つけてほしいものです。今年も保護者の皆様にもご協力いただきまして模擬店をやっていただけるとのことですので、楽しみにしています。

それでは、今後とも、保護者様の御協力を賜りながら、生徒のより良き人生のために、一致団結して本高教育に取り組んでいきますので御理解と御協力の程お願いするとともに、本日が実り多きものとなりますようお願いしまして、私からの挨拶といたします。本日はどうぞよろしく申し上げます。